

県内大学。短大は今

第1部 魅力づくり

て学部相互の融合に努め、と「富」の豊かさだ。工学部の使命は、産業を興し、業生たちが「地域のキーパーソン」として活躍していること。他方、薬学部は、人の健康寿命を延ばし、安らかな生活を生み出すことが使命だ。そして、富と健康こそが、心の豊かさを支える。

「富」と「健康」生み出す

工学部と薬学部、豊かな人材育成

山口東京理科大学（山陽小野田市）

理工系大学
とはいえ、理
数のどこかの

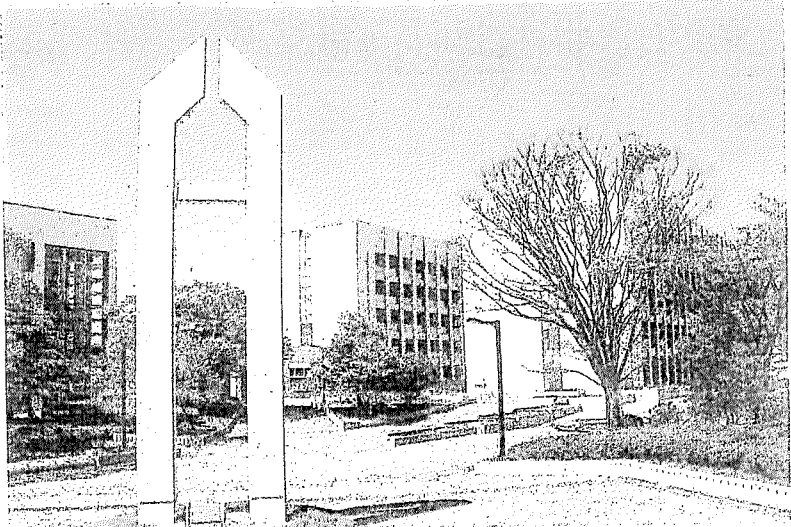
山陽小野田市立山口東京理科大学は、2016年4月に「公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学」として新たなスタートを切り、3年目を迎えた。4月からは、全国で4番目、西日本で初めての公立大学薬学部が開学した。

工学部と薬学部が同じキャンパスで学ぶという希少で魅力的な薬工系大学とし

数年後には現在の倍近くの学生数となることから、この地に集う若い力を源泉に、地域の活性化や社会の発展を目指している。

およそ人が生きていく上で大事なものに、三つの豊かさがある。「心」と「体」

数々の分野を苦手とする学生はいらぬ。工学と薬学、二つの分野を苦手とする学生はいらぬ。低学年で専門課程に進んで困らない理系の基礎知識を徹底的に教育し、小規模ならではの教員と学生、学生同士の距離の近さを武器に、理解度別の少人数教室や、授業での不明な



今年4月に西日本で初めての公立大学薬学部が開学した山陽小野田市立山口東京理科大学のキャンパス（山口東京理科大学提供）

箇所を若手教員がマンツーマンで指導するサポート教室など、苦手分野を克服できる体制を整えている。

する不安を払拭できるよう、学生一人一人に1人の教員がつく「チューター制度」や先輩学生が後輩の相談に乗る「ピア・サポート制度」も完備している。教

大学の魅力であることはもとより、教育と研究の力で、心の豊かさを生み出し、この街を、この世界を魅力あるところにしていきたい。

（学長、森田廣）
— 随時掲載 —

室の外でも、サークル活動やボランティア活動で心豊かな人と人との優しいつながりが育つのも特長の一つだ。

高学年ではさまざまな進路に対応したきめ細かい指導が行われ、それに応えることで幅広い学問を身に付けることができる。卒業研究では、熱心な教員が実践しながらの学問の深さと人間としてのたくましさも備えてくれる。これからも日本に一番必要な「優しく、ひたむきで、たくましい」学生が育つ教育を進めていく。